

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	情報システム概論
科目基礎情報					
科目番号	0263		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	情報システム工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	安藤 敏彦, 岡本 圭史, 菅野 浩徳, 熊谷 和志, 小林 秀幸, 竹島 久志, 武田 正則, 早川 吉弘, 力武 克彰, 高橋 晶子, 白根 崇, 菅谷 純一, 張 暁勇				
目的・到達目標					
与えられた課題に関して、課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
課題レポート	与えられた課題に関して、課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	与えられた課題に関して、課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、レポートを書くことができる。	与えられた課題に関して、課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、レポートを書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	情報システム全体の概要と位置づけをまず理解し、次に、個別技術について、その背景、基礎、技術動向、技術者・研究者になる上での心構えを学ぶ。 情報システム工学科における教育・研究について理解し、将来、情報システム関連の技術者・研究者になる上での素養を身につける。				
授業の進め方と授業内容・方法	毎回、講義する講師が替わり、各講師から様々な分野での研究課題について説明を受け、示された課題に取り組む。情報システム工学科の教員および外部講師（OB等）が講師にあたる。				
注意点	第4学年の「情報システム実験Ⅰ」や第5学年の「情報システム実験Ⅱ」、「卒業研究」などの科目とも関連する。課題遂行にあたっては、自主性、自律性が強く求められる。 この科目は、時間割上の授業時間以外に週4時間以上の自学自習が求められていることに注意すること。				
授業計画					
		週	授業内容・方法	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の概要について理解する	
		2週	(岡本) ソフトウェア高信頼化について	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		3週	(安藤) ナチュラル・ユーザ・インタフェースの現状と課題	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		4週	(菅野) 情報システムの運用管理	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		5週	(熊谷) バイオメカニクスおよび福祉機器の現状と課題	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		6週	(小林) What is wireless communication ?	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		7週	(菅谷) 現代制御あれこれ	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		8週	(白根)	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
	2ndQ	9週	(高橋(晶)) デジタルデバイドの現状と課題-情報倫理教育を含めた解決へのアプローチ-	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		10週	(竹島)情報のアクセシビリティについて	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		11週	(武田) ICTを活用したプロジェクトサイクルマネジメント	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		12週	(早川) 脳に学ぶ計算機から情報処理を考えてみる	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		13週	(力武) アジャイルな見積もりと計画づくり,そしてものづくりへ	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		14週	(張)	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		15週	(外部講師)題目未定	課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	
		16週		課題の内容を理解し、自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で、論理的にまとまったレポートを書くことができる。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	専門的能力 の実質化	PBL教育	PBL教育	工学が関わっている数々の事象について、自らの専門知識を駆使して、情報を収集することができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				集められた情報をもとに、状況を適確に分析することができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				与えられた目標を達成するための解決方法を考えることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				状況分析の結果、問題（課題）を明確化することができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	課題レポート	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	0	0
専門的能力	0	0
分野横断的能力	100	100